

県オリジナル焼酎用大麦「トヨノホシ」を育成し、栽培マニュアルを作成しました

【研究のポイント】

大分県では、これまで地元産大麦を原料にした焼酎製造が盛んです。このような中、県オリジナルブランド確立に向け、県酒造協同組合よりオリジナル品種の育成要望がありました。そこで水田農業グループでは、2007年より県酒造協同組合と共同で、多収で病害に強い県オリジナル焼酎用品種の育成に取組み、新品種「トヨノホシ」を育成しました(2018年2月9日品種登録)。また、多収栽培法の開発に取組み、栽培マニュアルを作成しました。



【研究の成果】

「トヨノホシ」の特徴

☆交配組合わせ (母)九州二条18号 / (父)ニシノホシ

☆栽培及び醸造特性

ニシノホシ並の早生品種です

穂数はニシノホシより少ないですが、**粒が大きく収量はニシノホシと同程度～優れます**

麦の重要病害である**オオムギ縞萎縮病に抵抗性があります**

大分県酒造協同組合における醸造試験で「ニシノホシと遜色ない」評価を得ました



表1 「トヨノホシ」の生育・収量特性概要

品種名	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	子実重 kg/a	千粒重 g	検査 等級	倒伏 程度 0-5	穀粒 硬度 HI
トヨノホシ	4.6	5.20	91	6.4	514	44.8	49.7	2.6	0.1	52.6
ニシノホシ	4.7	5.20	88	6.7	562	43.2	44.5	2.7	0.1	49.9

表2 「トヨノホシ」の病害抵抗性、穂発芽性、醸造特性

品種名	オオムギ 縞萎縮病Ⅲ型	うどんこ病	赤かび病	穂発芽性	成分分析		製麴試験			総合 力価
					デンプン 含有率(%)	タンパク 含有率(%)	消化性 (ml)	糖化性 (ml)	酸度 (ml)	
トヨノホシ	極強	強	やや強	やや易	64.0	11.3	80.3	20.5	5.72	1,648
ニシノホシ	極弱～弱	強	強	やや易	61.8	10.8	84.7	20.6	5.09	1,747

栽培マニュアル作成

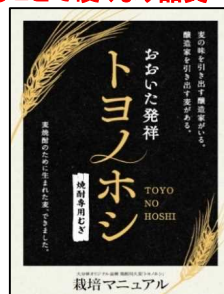
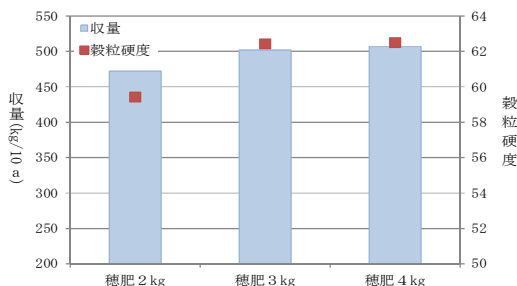
播種量、施肥量を明らかにするため、栽培試験を実施し、栽培マニュアルを作成しました。**穂肥を増肥することで、粒が大きくなり増収に繋がります。また、粒の硬度も穂肥を増量することで硬くなり品質が向上します。**

☆播種量

7kg/10a(晩播は9kg)

☆施肥体系

窒素施肥量 (kg/10a)		
基肥	分けつ肥	穂肥
5	2	3



【生産者の声】



2年前から栽培に取り組んでおり、H30産はH29産より収量が高くなりました。トヨノホシは発芽率が良く、栽培しやすいため助かっています。H31産は約9ha栽培しており、今後も需要が増え栽培面積を伸ばしていけたら良いと思います。

豊後大野市 (農)白鹿の里 組合長 柴山茂行さん

【連絡先】

担 当：農林水産研究指導センター 農業研究部 水田農業グループ 水田農業チーム
 TEL：0978-37-1160
 住 所：大分県宇佐市大字北宇佐65